

式 辞

上州の山々から吹く風も和らぎ、厳しい冬の寒さに耐えてきた木々の芽が膨らみを増し、今年も新たな希望に満ちた春が巡って参りました。この良き日に、ご来賓として、PTA会長 高橋 陽香(はるか)様、同窓会会長 狩野 浩志(ひろし)様、ならびに多数のご来賓の方々、保護者の皆様にご臨席をいただく中で、群馬県立前橋南高等学校「第46回 卒業証書授与式」を挙行できますことを、大変嬉しく思いますとともに、本校を代表し、心から御礼申し上げます。

只今、卒業証書を授与いたしました195名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。本校の所定の教育課程を無事終了し、めでたく卒業の日を迎えることができたのは、一人ひとりが3年間、たゆまぬ努力を積み重ねてきた結果であり、その姿勢に対し、心から拍手を送りたいと思います。本日の喜びは、今、述べたとおり皆さんの努力の結果であることは言うまでもありませんが、それと同時に、日夜を問わず深い愛情を持って支えてくださったご家族と、周囲の方々の温かい励ましの賜物であることを胸に、お世話になった方々へ、感謝の気持ちを伝えてもらいたいと思います。

思い起こせば3年前、厳しい高校入学者選抜を勝ち抜き、本来であれば希望に満ちた高校生活をイメージしてのスタートが、前年の新型コロナウイルスの出現により、多くの制約が課される中でのスタートとなりました。感染状況によって、授業は対面形式とオンライン形式が併用されたり、部活動では大会が無観客で実施されたりしました。学校行事にも多くの影響がありました。入学して早々に実施された楠祭は、一般公開が見送られて校内のみの実施となりました。高校生活の最大イベントともいえる2学年での修学旅行は、本来であれば台湾に行く予定でしたが、関西方面に変更して実施となりました。そして今年、ようやくコロナも5類へと移行し、スポーツ大会やマラソン大会等、多くの学校行事が通常開催できるようになりました。皆さんはコロナ禍における様々な変化や制約に負けず、新しい生活様式を受け入れ、自ら考え率先して校内外での感染拡大防止に取り組み、前南生らしい堅実な学校生活を全うしてくれました。ここ数年の卒業式は、出席者の制限や挨拶等の簡素化が求められ、在校生も会場には入れない中での実施でしたが、今年は大勢が体育館に集まり、卒業生を送り出すことができ、本当によかったと思います。

さて、世界に目を向けると、今もなお家族を失い戦火に生きる子どもたちがいます。震災で明日をも知れず暮らしている人々もいます。解決すべき課題が、世界規模で山積していることは、授業や報道から学んでいると思います。私は、今ほど若い君たちの力を必要としている時代はないと思います。これからの未来を創造していく君たちにとって、山積している課題を自分事として捉え、皆で英知を結集し最適な解を探り、できる事から行動していくことが必要な時代が来ているのです。

本校は今年、群馬県教育委員会からステューデントエージェンシーハイスクール(SAH)に指定されました。SAHの最上位目標は『自ら考え、判断し、行動できる生徒』の育成です。私は前南生に、まさに今、この時代に求められている力を身につけ、時代を牽引して行って欲しいという強い気持ちの表れだと解釈しました。正解の見えない取組ですが、前南生は早くも一步を踏み出し行動しています。詳しくは本校のホームページをご覧くださいと思います。前南生には、これまでのしがらみにとらわれることなく、しなやかな思考を駆使し、新しい時代を創造して行って欲しいと思います。

卒業生の皆さんに伝えたいことは沢山ありますが、最近読んだ本から、一つお話ししたいと思います。皆さんは、今は亡きスティーブ・ジョブズさんをご存じだと思います。そう、アップルやピクシーの共同創業者です。お話ししたいのは、その彼が語った言葉です。

彼は、未婚の大学院生の母親の元に生まれました。生活力の乏しい母親は、労働者階級の養父母に大切な幼子を預けます。ジョブズは成長し、リーズ大学に進学しましたが、両親に学費負担が重くのしかかり、その結果、半年で大学を中退し、親友とガレージで「アップル」を創業しました。これが、今や世界を代表する企業「Apple社」の出発点です。2005年、アメリカを代表する大学の一つであるスタンフォード大学の卒業式に招かれたジョブズは、自らの生い立ちや半生、すい臓がんと闘病生活等を語り、最後に学生に向けて「ステイ ハングリー、ステイ フーリッシュ」という言葉を贈りました。

「ハングリーであり続ける。愚かであり続ける」

人は満たされた状態が続くと、現状に満足してしまい新たな困難に挑戦する意欲は失せてしまいます。また、自分が優れた人物だと思った時点で謙虚な気持ちはなくなり、そこでその人の歩みは止まってしまうでしょう。若い君たちには、この言葉を胸に、自分に慢心することなく、卒業後のそれぞれの道で自らの志を高くもち、自分とその周りの幸福に満ちた新たな時代を創造する原動力となって欲しいと思います。

結びになりますが、保護者の皆様。ご子息ご息女のご卒業、誠におめでとうございます。本校での3年間、語り尽くせぬ多くの喜びを感じるとともに、学校行事実施の際は、ご心配・ご心痛をおかけしたこともあったのではないかと思います。それでもご理解とご協力をいただきましたことに対し、心より感謝申し上げます。

ご臨席いただきましたご来賓の皆様には、改めて御礼申し上げますとともに、今後とも、卒業生と本校への変わらぬご支援・ご協力をお願いして、式辞といたします。

令和6年3月1日

群馬県立前橋南高等学校
校長 関根 正弘